

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総 合 版)

第 3 0 号

【平成 23 年 8 月 22 日 (月) 発行】

発行：J A グループ宮城災害復興本部

編集：J A 宮城中央会

〒980-0011 仙台市青葉区

上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F

電話番号：022-264-8697 又は 264-8207

FAX 番号：022-216-4466

E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

I. 復興本部からの情報提供

1. 二重債務解消対策説明会開催、農業復興促進・原発問題収束を野党に要請
2. 日本共産党本部役員との懇談会を実施
3. J A グループ支援隊活動について

I. 復興本部からの情報提供

1. 二重債務解消対策説明会開催、農業復興促進・原発問題収束を野党に要請

8月9日(火)JAビル宮城にて、「株式会社東日本大震災事業者再生支援機構法案」についての説明会が行われました。これは、野党各党が法制化に取り組んでいる法案で、被災者の二重債務を解消するため、新たな機構を設立し過大な債務を負っている事業者の債権を買い取る仕組みを提案するものです。今回の説明会には、自民党山田俊男議員・片山さつき議員をはじめ野党5党の議員が参加した他、各業界団体・自治体関係者等が出席しました。

JAグループ宮城からは、JA宮城中央会菅原会長・竹中副会長・佐藤常務やJA組合長等が出席し、政府案の問題点や野党案のメリットについて説明を受けた後、農業復興への実効性等に関する質疑応答が行われました。

説明会終了後には、出席した5党の党首・代表宛に「東日本大震災からの農業復興促進・原発事故に伴う農畜産物被害等に関する要請書」を手渡し、農業復興に向けた一層の尽力を訴えました。



農家の二重債務解消対策について説明する片山議員(中央)



要請書を手交する竹中副会長(左奥)、菅原会長(左中)、佐藤常務(左手前)と野党各党代表者ら(右側)

2. 日本共産党本部役員との懇談会を実施

8月16日（火）日本共産党の紙智子参議院議員（党農林・漁民局長）ら5名の本部役員がJAビル宮城を訪れ、JA宮城中央会佐藤常務、全農みやぎ千葉本部長らと懇談会を行いました。

原発被害に対する意見交換がなされ、県産牛全頭検査の完全実施など消費者に対する「安全」の伝え方や理解を得る仕組みをつくることが急務であること、汚染牛肉や汚染稲わら等の処分方法を確立しなければさらなる風評被害を招く危険性があること等について認識を一致しました。

懇談会終了後、「東日本大震災からの農業復興促進・原発事故に伴う農畜産物被害等に関する要請書」を手渡し、本県農業復興の諸対策について早急な実行を訴えました。

3. JAグループ支援隊活動について

全国JA支援として、4月より継続的に「東日本大震災JAグループ支援隊（全国のJA役職員による災害復興支援ボランティアチーム）」が被災JA・組合員への支援活動を行っています。現地からの評価が高いため、JA全中は7月末までとしていた予定を変更して10月まで延長することを決定しました。

(1) 第16陣による活動

第16陣12名が8月8日（月）に到着しました。今回の支援隊には、鹿児島県のJA職員及び各連合会職員が参加しています。8月12日までJAみやぎ互理管内でイチゴハウスの建設作業を実施しました。

以上